

かなれきフィールドワーク 2023

# 東京大空襲戦災資料センターへ行こう！

——東京大空襲の「跡」をたどり、吉田裕館長と懇談しよう——



主催 神奈川県歴史教育者協議会  
(かなれき)

日時 2023年3月26日(日)

正午集合

参加費 500円

集合 地下鉄東京メトロ半蔵門線・都営地下鉄新宿線「住吉」駅 B1  
出口を出た所 \*昼食を済ませておいてください\*

日程 12:00 駅集合→重願寺（戦災・震災供養資料館、みまもり観音を見学、住職より大空襲時に関わる講話）→猿江神社（大空襲で奇跡的に難を逃れた社）→13:00 センター（館内ガイドと一緒に見学、吉田館長との懇談）→15:00  
フィールドワーク第2弾東陽町方面へ（希望者のみ参加）  
16:30 終了予定

ガイド 戦災センター石田博美さん

申し込み・連絡先 (3月19日締め切り) [kanareki.jimukyoku@ozzio.jp](mailto:kanareki.jimukyoku@ozzio.jp)

090-2768-9181 芦川（留守電可）

## 【センターがめざすもの：ホームページより】

●なぜ東京は空襲を受けたのか、なぜこれほど大きな被害が出たのか、空襲のなかでどういう人びとがどのような体験をしたのか、空襲はどのような傷跡・影響をのこし、そのなかで人びとはどのように生きていったのか、日本社会はその歴史や経験にどのように向き合ってきたのか。センターを通じてそれらのことをまず知ってもらい、さらに、もっと多くの人に伝えるきっかけにしてほしい。この、「知らないなら学ぼう、知っているなら伝えよう」ということが、2002年の開館以来、民立民営の施設として東京の空襲を伝え続けてきたセンターの目標のひとつです。

●あの戦争・空襲から長い年月が経ちました。空襲を体験した方々、募金などを通じてセンターを支えてくださった方々、そして、センターの母体となった「東京空襲を記録する会」をはじめ、これまで空襲の実態を掘り起こし、伝えてきた先輩たちも、どんどん少なくなってきました。センターは、そうした人たちの歩みや想いを受け継ぎつつ、これからも空襲を伝え続けていきます。そして、空襲を学び平和を考えるための教育の場、平和に取り組む市民活動の場、空襲を研究する場として、それらに関わる人びとがつどい、垣根をこえて交流し、お互いを尊重しつつ、ともに平和をめざして活動するための中心地（＝センター）になることをめざします。

いのちと平和のバトンを、しっかりと未来に受け渡すために。



←焼夷弾の模型



母子像「戦火の下で」→